

<平成 29 年度 あおぞらこども園 園評価>

教育・保育目標について

- ・前年度の反省を活かし、目標を設定しているが、若干弱い部分もある。全職員での共通理解の点で難しい所もあるため、園全体で方向性を理解していきたい。

教育・保育について

- ・子どもが遊び込める環境、子ども発信の保育、素材遊具の活用等、保育教諭一人一人悩みながらも協力し、保育に取り組んでいる。職員の意識を同等にして行けるようにしていきたい。

園の一日の流れについて（デイリープログラム）

- ・現行のままで良い。

行事について

- ・職員の負担も大きいものの、職員全体での協力体制が出来ている。子どもの発達を考慮し、無理のない行事参加になっているが、保護者の意見も聞きながら内容を検討していければと思う。行事の練習（子ども）という意識ではなく、遊びの中で行事の活動ができるとさらに良い。

経営・組織

- ・保育者一人一人が子どもと関わる中で意識を高めていけたらと感じる。
- ・クラス、年齢など様々なチームの枠の中で時にはチーム内の温度差があったり、個々の考え方の違いがあったり等、連携が難しい所もある。
- ・ほぼ一人一人の能力に応じた体制になっていると思うが、係や行事担当等を経験したことのない職員もいるため、内容や詳細を理解できていない部分もある。経験年数にとらわれないことなく、割り当てることで視野が広がると思う。又、効率的に進められているが、限られた人が発信しているように思う等の意見もあった。

研究・研修について

- ・園内研修、カンファレンス等を通して日々の保育を見直し、活かすことが出来ている。職員の経験年数の差を考慮した内容、計画があっても良い。
- ・外部研修に積極的に参加させてくれる体制である。研修報告の場がもう少しあれば良い。

情報について

- ・情報管理に気を付けていると思うが、勤務時間内に処理しきれない書類もある。

施設・設備

- ・安全点検は定期的に行っており、不備があればすぐに対処している。整理整頓が不十分なところがあるので気を付けていきたい。

出納経理

- ・適正に行っている。

開かれた園づくり

- ・保護者の意見が反映されていると思う。
- ・小・中・高の学校と多様な世代間交流が出来ていると思う。
- ・駒形保育園以外の園の子ども達との交流もあっても良い。
- ・保育者同士の打ち合わせの時間確保が難しく、共通理解が出来ているのか疑問に思う時もある。
- ・地域の行事等に無理のない範囲で各年齢参加できているが、もう少し参加できれば・・・と思う。
- ・積極的に子育て支援に取り組んでいるが、保護者の学習機会があれば、園の方針を伝えたり、悩んでいる保護者のためになったりと思う。
- ・保護者からの「子育て相談」の相談内容はクラス内でもきちんと周知していければと思う。